



「TPKF70年史」より

与えられた志

岐阜純福音教会伝道師 小山芳枝

「神は、みこころのままに、あなたがたのうちにて志を立てさせて、事を行わせてくださるのです。」
(ピリピ2・13)

私が神学生の時、学期末の懇談会の折、先生方から今後の働きをどう考えているのかと尋ねられました。私は、「福音伝道と共に、将来、女性の働き人を励ます働きをしたいと思っています」と答えましたが、その時、私の思いを理解してくださる方はどなたもおられませんでした。私のまわりの女性献身者の方々もやはり理解してくださりませんでした。

2001年4月から1ヶ月間、私はハワイで開かれたハガイ・アドバンスト・リーダーシップセミナーに参加するチャンスが与えられました。世界各国から集まった58人のクリスチャン女性リーダーたちと共に過ごし学ぶ中で、彼女たちの主体性と凛とした姿に、日本の女性リーダーたちとの違いを感じました。神学生の時に神様から与えられた、「日本の女性の働き人を励ます仕事をし

たい」という思いが、再び私の心に起こってきました。少し時間はかかりましたが、神様は同じ志を持った三人の牧師夫人に出会わせてくださいました。

2008年5月、私たちは第一回「牧師夫人リフレッシュセミナー」を超教派で開催しました。それ以来、25人から30人定員で、2泊3日で年一回開催してきました。(コロナ禍で、残念ながら昨年と今年は開催できませんでした。)

働きの中で疲れ、悩みを抱いた夫人方がセミナーでの3日間、同労の夫人たちと共に神様の愛の中でゆっくり過ごし、学び、分かち合い、励まされ、心が癒やされていきます。毎回励ましを得、リフレッシュされた牧師夫人たちは希望と喜びを持ってご自分の働きの場に帰って行かれます。本当に嬉しいことで、神様に感謝します。これから女性牧師、伝道師の方々のためにもこの働きが広げられることを願っています。神様が日本の女性リーダーを力づけ、励まし、大いに用いてくださいますように！

太田ともえ宣教師を支える会

大津キリスト福音教会 川瀬恵理也・佳奈

パキスタン宣教に携わる太田ともえ宣教師は2010年4月より宣教の働きを始められ、今日まで11年間、神様の導きと守りの中で支えられてきた事を感謝いたします。

TPKF や多くの諸教会、及び兄弟姉妹方による温かい祈りや尊い献金のご支援、心より感謝申し上げます。

昨年7月、太田宣教師のお父様が突然倒れられ、急遽帰国となり、その後9ヶ月間の日本滞在となりましたが、2021年3月17日パキスタンに戻られ、派遣第五期の働きを始められています。第五期の働きとしては、パキスタンでの活動拠点であるラホールに、新しく宣教師達をお迎えするにあたり、宣教師チームのリーダーの役割を期待されているとのこと。また、引き続き現地女性伝道者チームとの働きや、女性シェルターでの働きも行っていく予定と伺っています。

さて、今回は太田ともえ支援会として、裏方ではありますが、活動内容について紹介をさせていただきます。まずは会計の管理ですが、宣教師が現地で安心して活動する為にも継続した経済的支援が必要となります。皆様の尊いご献金は、まず太田ともえ宣教師が所属している宣教

団体 SIM (Serving in Mission) 日本委員会に送り、そこから SIM East Asia(Singapore) に送金され、パキスタンで働く太田宣教師の元へ届けられています。次に、パキスタンでの活動内容や祈りの課題を共有し、祈りによって支援して頂く事を目的としてニュースレターの発行を行っています。今後とも皆様に情報をお伝えして参りますので、引き続きご支援を宜しくお願い致します。

最後に、宣教地パキスタンでの活動を通して、太田ともえ宣教師が本当に兄弟姉妹達に愛され、信頼されている姿を見る事が出来、神さまの働きを心より感謝致します。又、支援会を通して多くの教会と繋がり、神の業を前進させていく事が出来るのは大きな恵みでもあります。今後とも太田ともえ宣教師のご支援を宜しくお願い致します。



教会で奉仕する太田ともえ宣教師 (左から2人目)

～TPKF 三役の提言～

TPKF 委員長 芳三 容子



今年2月より TPKF 委員長としてのご奉仕をさせていただいています。お祈りに覚えていただけましたら感謝です。よろしくお願い致します。

昨年初めの緊急事態宣言から私たちの生活に変化をもたらした新型コロナウイルス、教会生活、TPKF 大会、TPKF 全体の活動も形を変えて開催せざるを得ない日々が続いています。ワクチンについてもさまざまな情報が耳に入りますが、最終的には個人が判断をしていかなければなりません。教会の活動においても地域により対応が異なってきますので、その時できること、しなければならないことを、神様から知恵をいただきながら、導かれながら、していくことしかできない日々です。

「コロナ鬱」「風評」などネガティブな影響もある中で、クリスチャンだからこそできることに目を向けていき

たいと思います。

- *この時だからこそ、福音を宣べ伝える。
- *この世界的パンデミックが一日も早く終息するように祈る。
- *各国、各界のリーダーたちのために祈る。
- *医療従事者、ワクチン、治療薬の研究者のために祈る。

このほかにも自分の教会や個人的な祈りの課題はたくさんあると思います。私たちにはイエス・キリストの御名によって祈れる特権があります。祈るならば開かれていきます、人のできることをはるかに超えて神様が働かれます。創造者、支配者、権威者、勝利者、愛なる方、救い主、癒し主、備え主……この神が眠ることなく、まどろむことなく働いておられます。

教会で大々的に伝道集会ができなくても、個人的に福音を伝えることができます。真の救い、平安と希望を与えることのできるお方を紹介することができます。不安な社会の中で人々は物心ともに安定を求めています。答えがイエス様にあることを伝えることができます。

愛する TPKF の各教会、すべての兄姉が守られ、祝され、お働きが多くの実を結びますように。

信仰継承



京都キリスト福音教会宣教師

吉田 隆

我が家では、信仰継承のための配慮は妻によってなされて来ました。妻は神様を第一に、家族で神様を見上げて、いつも主と共に歩んでゆく家庭のビジョンを持っていました。そのビジョンは家族が合唱し、時には一丸となって困難に立ち向かう、まさに映画「サウンド・オブ・ミュージック」のように。

私たちには四人の子どもたちが与えられましたが、それぞれの名前がどのようにして与えられたかをお話しましょう。

私は、若い頃に宣教に召されて、主のために自分の生涯を献げて行くということに一直線でした。京都で、当時世界最大のヨイド純福音教会のチョー・ヨンギ牧師が来られる聖会が行われ、会場係として働いていました。祈りのために並んでいた人々の整理をしていましたが、最後の方が祈り終わり、自分も祈っていただく恵みに預かりました。「父なる神様、この兄弟に啓示をお与えください、アーメン。」という祈りを聞いて、どんなすごい啓示が与えられるのだろうかと思いを焦がれていました。しかし、幻も夢も与えられませんでしたので、初めて与えられた男の子に「啓示」という名前をつけました。(ルカ 2:32)

最初の宣教地は中国であると分かっていましたが、その備えのためにアメリカに勉強に行こうとしていました。そのただ中で、長男は複雑骨折で手術を受け妻は切迫早産になって入院、私は交通事故に遭うなど、次々と大きな試練を受けました。しかしそれらすべて神様が益としてくださるという信仰のもと、すべてを神の摂理であると考えました。次の子どもは、女の子が与えられ、名前を「摂理」と付けました。(箴言 8:14)

二人の子どもを連れて、シアトルの神学校に学びました。そこで三番目の子、男の子が与えられました。心は宣教の目標に定まっていた。そこで「宣教」と名付けました。(マタイ 4:17)

このアメリカでの学びの間に、信仰継承の姿勢に関して大切な経験をしました。当時の私は「子どもの世話には妻にまかせて、自分は主の働きをする」という考えを持っていました。しかしある授業の中で、ひとりの有名な説教者のことが紹介されました。ボブ・ピアスはワールド・ビジョンを創設した世界中を飛び回る器として知られていました。彼には二人の娘がいました。彼は神に祈りました。「自分は失われた魂の伝道のために忙しいので、娘たちのため

の時間がありません。どうぞ、私が旅行をして世界中の滅びゆく魂のために働いている間、娘たちをよろしくお願ひします。」しかし、その娘の一人には大きな問題が起こり、もう一人の娘がその父に関する否定的な内容を書物に残しました。これは大きなショックでした。自分たちが主からお預かりした子どもたちへの信仰継承を怠ってはならない、と教えられたのです。

聖書を見ても、祭司エリは立派な人物でしたが息子たちは、よこしまな者たちで主を知りませんでした。そこでサムエルがリーダーとして立てられました。そのサムエルは立派なリーダーでしたが、息子たちは「父の道に歩まず、利得を追い求め、賄賂を受け取り、さばきを曲げていた。」(Iサムエル 8:3)とあります。

この教えを胸に、中国に宣教に出かけました。香港に滞在している時に、第四子が与えられました。神様の啓示と摂理によって、宣教が成就しなければならない。男の子の名を「成就」と付けました。(マタイ 1:22)

当時の働きは、香港をベースとして中国本土へ出かけることでした。ですから、家庭では妻が子どもたちを教え、家庭礼拝で神様のことを伝えてくれました。

私が子どもたちといる時間を大切に過ごさなければならぬことを、教えてくださった主に感謝をしています。子どもたちは、アメリカから日本へ、日本から香港へ、香港から日本へと親の働きのゆえに移り住みました。そこには、生活環境の変化、幼稚園や学校、友だちや人間関係、文化や言語などの様々な変化を目まぐるしく経験しなければなりませんでした。

そんな中で一つのことを思い出します。日本に帰ってきてからのことでした。娘の摂理はいじめに遭い、学校に行きたくなくて家の出口の前でうずくまっていた。聖霊様が「今行かないと、ずっと行けなくなりますよ!」とおっしゃいました。私は娘に「しんどくても、頑張って学校に行こう!」と励ましました。

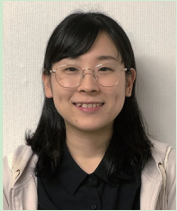
1990年に渡米をしてから、香港に遣わされ、再び日本を拠点とするまでの10年間の間に、10回引越しをしたのです。子どもたちは、敏感な感受性の強い時でしたから、辛いことも多くあったに違いありません。

今、成人した4人の子たちが主を愛して仕えてくれていることは大きな喜びです。主の憐みです。次回は妻が吉田家の子育てについてお分かちします。

あかし

献身の証

雲井キリスト福音教会 山崎紫音



「ドッグトレーナーになって犬を助けたい。」私にはこのような夢がありました。専門学校卒業後、キラキラした思いで希望の職場で働き始めました。しかし、思っていた以上に厳しく、3か月で辞めてしまいました。このことが自分を責め、私にとって「恥」となりました。再びドッグトレーナーや犬に優しくできる動物看護師になることなどを考えましたが、「また失敗したらどうしよう、怖い」と、3年間程、何一つ行動することができませんでした。そして遂に、一歩も踏み出すことのできない自分に絶望しました。そんな中祈っていると、「人がどう見るかではなく、わたしがどう見るかだ」という神様の声が聞こえました。その時私は、頑張っって一歩を踏み出そうとしていた動機は、「恥」、そして「人から良く思われること」だったことに気づかされました。しかし、神様がどう見られるかが大切だと分かり、頑張らなくていいんだと心が楽になりました。囚われていたものから解放されたのです！だったら、神様が喜ばれる生き方をしたいと思いました。それって何だろうと祈り求めていると、「従う」ということを思われました。「はい。今すぐについて行きます！とは言えません。でもついて行きたいです。」と祈り始め、翌年の春K B Iへの入学に導かれました。K B Iで、私の罪のゆえに十字架に釘付けにされたイエス様の姿を描き出して、ずっと知りたいと祈っていた、驚くばかりの十字架の恵みを体験させてもらっています。「愛してるよ。もう赦してるよ。」と言ってくださる神様の愛に応答し、私も神様を愛し、隣人を愛していきたいです。

トンネルの出口を神様が用意してくださった

勝山自由キリスト教会 山内佳佑

私は長い間ギャンブル依存症で苦しみました。それは出口のない真っ暗な長いトンネルの中をひとり孤独にさまよっているようでした。お金を失い、時間を失い、心の泉は泥水となり、家族を失いました。妻とショッピングを楽しむより、子供と公園で走り回るより、ギャンブルを優先させていました。やがてギャンブルと窃盗が癖のようになり、警察署の中で涙を流しながらうずくまっていました。神なんているものか！ そう失望し、自分の人生を後悔し、他人を羨み、将来の希望は無人島で生活保護をもらって誰にも会わずにひっそりと暮らすことでした。そんな生活を本気で変えようと依存症の自助グループに参加し続け、次第に自分の正直な気持ちに気づきました。誰か私を助けてください！

勝山の教会に初めて行った時、本当に神様が私をここに連れてきてくださったのだと思いました。礼拝後、兄弟姉妹たちが私の周りに集まってお祈りをしてくださいました。「もうひとりで悩まなくていいんだよ」と誰かが言った言葉が神様の言葉のように感じられ、涙が止まりませんでした。そして、2020年の6月21日が私の新しい誕生日となりました。洗礼を受けたのです。それも、私だけではなく別れた妻も一緒に受けたのです。これまでを振り返ってみると、とても信じられない出来事でした。トンネルの出口を神様が用意してくださったのです。教会に行き始めた頃、患難は希望に変わる、とメッセージをもらいました。そのためには、ただ信じるだけでよかったのです。新しい誕生日の日にみんなの前で改めて信じることができました。イエス様が私たちの罪を背負って死なれ、そして三日目に蘇られたことを。神様と一緒に孤独ではないこと、ありがとうございます。

■ オンラインでのチャレンジキャンプ 〈イースト〉



イーストでは、3月27日（土）にオンラインでのチャレンジキャンプがもたれ、13名が参加しました。

今回のテーマは「福音の刃」！。午前中は横須賀クリスチャンセンターの山田愛也副牧師がヨハネの福音書4章から力強く語られ、「目を上げ続けよう！ 刈り入れを待つばかりになった黄金色に輝く麦畑をみつめ、一つ一つ麦を刈り入れよう！ それはいつかではなく、いま私たちがすることだ！」というチャレンジを受け取りました。午後は分科会に分かれて、それぞれの会で、「伝道は難しいものではなく、今の自分たちで充分なのだ！」という神様のメッセージを受け取ることができました。引き続き、オンラインを活用しながら、ユースとの交わりを継続しつつ、力を合わせて、今後も共に活動していきたいと思えます。（小川祐司）

■ この時も福音は前進される 〈FCMF〉

「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっ



かりやりなさい。」（Ⅱテモテ4：2）

コロナ禍、須磨自由キリスト教会では昨年三度の礼拝等の自粛期間があり、今も経験しています。礼拝、子供勉強会など人との接触を控えています。

■ KBI

新年度はコロナ禍で学生が集まるかと心配していましたが、蓋を開けると主は多くの新入生、編入生を送ってくださいました。これ以上、人数が増えると部屋が足りないほどで、うれしい悲鳴です。主が日本の多くの魂のために備えておられるのを感じます。

話は3月に戻りますが、3月11日には前年度の卒業派遣式があり、8名の卒業生が派遣されていきました。卒業生たちは「キリストを生きる」というオリジナル賛美を歌いました。「召されたこの道を行く、私ではなくキリストが生きている。主イエスあなたと共に、一つの魂追いかけて最後まで走り抜ける♪」YouTubeにアップされたこの賛美を後から何度も聞きながら、彼らが卒業に至るまでのプロセスを思い出しながら感動していました。神様と歩むプロセス、それがとても大事だと思います。2021年度もお祈りをお願い致します。（関西聖書学院 高橋めぐみ）

このような状況から一年が経過し、教会の人や近隣の人との交わりも以前より減少しているのが現実です。

しかし、コロナ禍の【この時】も福音は前進していることを確信しています。今年の冬、小学6年生のお子さんが教会に訪ねて来ました。「神さまって何か知りたいんやけど、何時に教会に来ればええの？」私は「何時でもいいから来な。」

翌日の礼拝にその子の姿がありました。数か月が経ち、教会学校の中で主と出会いました。そして自ら、みことばを受け入れ、神さまの子どもになり、今、教会学校のリーダー的存在になっています。Hallelujah! 主は今、生きています。

（平川 久）

■ 守山スタイルのコロナ対策 〈キリスト福音〉

職業、居住地で緊張感が異なる中、礼拝堂もオンライン先も、同じ礼拝者として捉え、映像機器を整えて礼拝・祈祷会・キッズ集会をオンライン配信と並行で集った1年でした。集う時は、マスク、消毒、換気を基本とし、県下の緊急事態宣言以外の時は、ポットを触る前に手指消毒しての珈琲の交わり、小グループを継続。礼拝では、家族以外は隣1席あけ、賛美チームのマイクには自作アクリル板設置、ステージと会衆の間にスペースを確保して賛美！聖書を読む会、子ども集会は互いの距離を保ちつつ継続。週一回のほっとカフェは「みんなの居場所」。交わりにビデオ通話が用いられ、教会総会は初 ZOOM 併用開催。幼子の葬儀もオンラインと並行で執り行えました。今後も、オンラインを最大限活用しつつ、共に集まることを大切にする教会でありたいと願っています。

（上田勇矢）



ZOOM 併用の教会総会（2021年3月）

ライブ配信のQRコード



教会紹介

亀岡ベタニヤ教会

所在地：京都府亀岡市北町1番地

フィンランドミッションのアンティ・ロポ宣教師一家によって、ベタニヤ教会が建て上げられたのは、今から52年前のことです。以来、様々な活動を通して、亀岡の人々に救い主イエス様を紹介して来ました。現在、信徒のみの教会ではありますが、K F Kの諸先生方にご支援ご協力を頂きながら礼拝を守っております。小さき交わりも、やがては御国に迎え入れられる恵みを感謝いたします。「しかり、わたしはすぐに来る。」アーメン。主よ、花嫁は待ちます。
(大西弘美)



岐阜純福音白鳥教会

所在地：岐阜県郡上市白鳥町白鳥354-1

岐阜純福音白鳥教会は、岐阜県の奥美濃地方唯一の教会です。伝道を始めて50年、会堂が建てられて40年になります。自然豊かで、山並みの美しい雪の多い地域なので、冬は除雪の奉仕が加わりますが、薪ストーブで暖まりながら十数人で礼拝と交わりを持っています。白鳥町出身の櫛田まち子姉が信徒責任者として他の姉妹と共に奉仕しています。本部教会からは、働き人が月に1、2回程度メッセージのために出かけています。
(小山大三)

TPKF / 教会情報

● T P K F 新三役・顧問就任

委員長、芳三容子牧師 横須賀クリスチャンセンター
副委員長、山本義武牧師 福井自由キリスト教会
書記、上田勇矢牧師 守山キリスト福音教会
顧問、小山大三顧問牧師 岐阜純福音教会

● 「TPKF 70年史」を出版

「TPKF 70年史」を出版し、購入した教会に送付した。まだ若干の残部があるので、購入を希望される場合は、イーストは金沢フィラデルフィヤ教会・宮崎一実師、FCMFは金津福音キリスト教会・菅原純次師、キリスト福音教会は宣教メディアセンターまで連絡を。

■ 岐阜純福音教会

2021年3月14日 岐阜純福音教会大森チャーチを閉所、大森チャーチは本教会に合流する

■ 横須賀クリスチャンセンター

3月14日 山田愛也副牧師就任

■ 町田純福音教会

4月4日 廣瀬開伝道師結婚のため辞任。4月10日林賛美姉と結婚、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴット教団 東京メトロチャーチで奉仕予定

■ 丸岡福音キリスト教会

電話番号変更 (新) 0776-66-1453

単立ペンテコステ教会諸教会 (名簿順)

北広島自由キリスト教会 / 平川キリスト福音教会 / 房総中央キリスト教会 / 大佐和キリスト教会 / 町田純福音教会 / 鶴見純福音教会
横浜フィラデルフィヤ教会 / 磯子フィラデルフィヤ教会 / 金沢フィラデルフィヤ教会 / 横須賀クリスチャンセンター
保土ヶ谷純福音教会神の愛チャペル / 大和あがないの丘キリスト教会 / 戸塚カルバリ純福音教会 / 栄シャローム福音教会 / 伊勢原聖書キリスト教会
秦野クリスチャンセンター / 北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音教会 / 南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会
甲府カルバリ純福音教会 / ハーベスト・チャーチ山梨 / 裾野純福音キリスト教会 / 御殿場純福音キリスト教会 / 富士純福音キリスト教会グレイスチャーチ
いのちのパンの家 / 小松ベタニヤ福音教会 / 小松南部キリスト教会 / ホープハウス / 福井自由キリスト教会 / プンキョウゴスペルセンター
松岡福音教会 / 丸岡福音キリスト教会 / 勝山自由キリスト教会 / The Lighthouse 749 (三国) / 武生自由キリスト教会
グローリーチャーチ敦賀自由キリスト教会 / 金津福音キリスト教会 / 小浜キリスト福音教会 / 小浜キリスト福音教会三方伝道所 / 高富グレイスチャペル
岐阜純福音教会 / 岐阜純福音白鳥教会 / 岐阜ライフチャーチ / 美濃グレイスチャーチ / 本地ヶ原自由キリスト教会
瀬戸サレム教会 / 大阪キリスト福音教会名古屋伝道所 / 滋賀キリスト福音教会 / 守山キリスト福音教会 / 大津韓国福音教会 / 大津キリスト福音教会
田上キリスト教会 (大津キリスト福音教会伝道所) / 甲賀キリスト福音教会 / 水口キリスト福音教会 / 甲西キリスト福音教会
雲井キリスト福音教会 / 米原キリスト福音教会 / 綾部キリスト福音教会 / 亀岡ベタニヤ教会 / 京都キリスト福音教会
山科キリスト福音教会 / 深草キリスト福音教会 / 宇治キリストペンテコステ教会 / 木幡キリスト福音教会 / 大阪キリスト福音教会
須磨自由キリスト教会 / 神戸フィラデルフィア教会 / 南さつまキリスト福音教会

以上の教会に1部以上を送っています。私たちの願いはすべてのTPKFの信徒が1部ずつ持つことです。

ご意見、ご感想は次のメールアドレスをお願いします。tpkf.pentecost@gmail.com TPKFの公式ホームページ <http://www.tpkf.org/>

